

新4年次生向け 教務関連ガイダンス

2022.3.24
情報科学部 教務担当委員長 西口 敏司

2022年度の授業形態について
4年次生の位置づけ、注意すべきこと
充実した学生生活を

2022年度の授業形態(1)

- 基本的に**対面形式**で実施します
 - 教室では、密にならないように、試験形式で着席(座席指定ではないが、間隔をあける)してください。
 - ごく一部の授業は、**オンラインで実施**されたり、**オンラインで実施する回**があることがあります
 - 2022年度前期から、「代替措置による授業受講にかかる申請」は廃止します
- **状況によっては、オンライン形式に移行して授業実施**します
 - 新型コロナ感染拡大状況によって、国あるいは大阪府からオンライン授業実施の要請があり、かつ、大学としての方針が示された場合
 - 皆さんやその家族に、新型コロナ感染や濃厚接触者認定者が発生した場合
- **新型コロナに感染したり濃厚接触者に認定された場合**
 - 大学のホームページから登録した上で、学部事務室に連絡してください
 - 学部長判断により、関連する授業が一定期間オンラインで実施されることがあります

2022年度の授業形態(2)

- 各授業に関する情報は、行事日程表、時間割、各授業のホームページなどで確認すること
- Google Driveの共有アイテムは補助的に使用します
 - [情報科学部授業資料 2022年度前期](#)



- 「最初に読んでください(情報科学部教務担当)_20220401.pdf」のようなファイルが準備されています。その情報を確認しましょう
- 各授業の担当教員には、**授業形式が変更になった場合などに「最初に読んでください」ファイルの更新や、各種情報をアップロードするようお願いしています**

2022年度の授業形態(3)

- 各授業の主な受講形態、および、各回の実施形態について、授業開始時の情報は以下のGoogleスプレッドシートに記載しています
 - [2022年度 情報科学部 前期授業形態](#)
 - 主な受講形態
 - **対面受講**: 学生が主に対面で受講することを想定した授業
 - **オンライン受講**: 学生が主に対面以外(オンライン等)で受講することを想定した授業
 - 各回の実施形態
 - **対面**: 教員が対面(教室)で実施
 - **オン**: 教員が教室以外(オンライン等)で実施
 - **休講**: 事情により休講(別途、補講が実施されます)
 - 曜日、学科、学年等でフィルタをかけることができます
 - 状況によって更新される可能性がありますから、授業担当者からの連絡に加え、上記スプレッドシートも確認してください



4年次の位置付け

- 「卒業要件」を充足し、大学生活を締めくくる
 - 卒研配属先での研究遂行
 - 不足単位の取得
 - 就職活動、大学院受験と研究準備
 - 卒研発表と論文による審査(合格/不合格)
 - M0生は大学院授業科目の先取履修制度があります(シラバスp.14~p.15)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
就活生		前期中には内定を									▲卒業	
M0生	▼大学院推薦入試		▼大学院研究発表会				海外研究支援なども選択肢に				▲卒業論文提出	
院受験生				▼大学院一般入試(本学)								▼大学院一般入試(本学)

情報科学部での履修制限

- 3年次「情報ゼミナール」の履修要件
 - 総取得単位数 62 単位以上であること(教職等は除く)
 - 2年終了時に「情報ゼミナール」履修要件を満たすこと. 情報ゼミ非着手=留年.
 - ただし, 2年終了時に80単位は確保しておきたい
- 4年次「卒業研究」の着手要件
 - 「情報ゼミナール」の単位取得
 - 「達成度確認テスト」の合格
 - 以下に示す単位以上を取得していること

総合人間学系	20単位
総合理学系	10単位
キャリア科目	2単位
専門科目	72単位
総計	104単位

必修科目 12単位以上
選択必修科目 12単位以上

3年終了時に120単位以上は確保しておきたい

卒業要件の確認を

- 卒業資格を得るためには履修申請要領に記載の条件を満たしていなければならない
 - 入学年次により条件が異なるので自分自身の条件を確認の上, 履修計画を立てること
- 勘違いで卒業できなかった事例はある
 - 卒業要件を満たしていなければ, たとえ就職が決まってもキャンセルして留年するしかない!!
 - 毎年数件の事例あり

卒業要件の確認を

- 総合コースとCSコースで異なるので注意すること(学生便覧参照)
 - 124単位以上取得, 4年以上(8年以下)在学
 - 卒業研究に合格(卒業研究は単位数に含まない)

位として認めることができる。
第4条(卒業に必要な単位数)
卒業に必要な単位数は124単位とし、次表のとおりとする。

コース	区分	学 科	情報知能学	情報システム学	情報メディア学	ネットワークデザイン学
総合コース	共通科目	総合人間学系	12単位以上			
		外国語	8単位			
		健康・スポーツ科学	2単位			
	総合理学系	12単位以上				
	キャリア科目	2単位				
専門科目	必修科目	27単位	23単位	22単位	22単位	
	選択科目	59(12)単位	63(12)単位	64(12)単位	64(12)単位	
	()は選択必修科目の単位数を含む					

コンピュータサイエンスコース	共通科目	総合人間学系	12単位以上 (コース選択必修科目5単位を含む)		
		外国語	8単位		
	総合理学系	健康・スポーツ科学	2単位		
		総合理学系	12単位以上 (コース選択必修科目5単位を含む)		
キャリア科目	2単位				
専門科目	必修科目	27単位	23単位	22単位	22単位
	選択科目	59(12)単位	63(12)単位	64(12)単位	64(12)単位
	()は選択必修科目の単位数を含む				

- キャリア科目2単位={基礎ゼミ, キャリアステップ, キャリアデザインI, キャリアデザインII, グローバルテクノロジー論, OIT概論}から2科目
- 2018年度生から新カリキュラムとなっているので, 先輩とは違っています. 注意.
- 過年度生は, 入学年度に準拠したカリキュラムが適用されます. 各自確認のこと.

卒業研究について(1)

- 卒業研究の内容は研究室によって異なる
- 今までに学んだ幅広い知識・能力が要求される大きな課題に取り組む点はどの研究室でも同じ
- 卒研は通年単位(ただし、継続履修制度あり)
 - 真面目に取り組まないと単位は出ない。まじめに取り組めば、就職後に必要となる様々な能力を身につけることができる。
- 論文と論文概要提出は1月31日
卒研発表会は2月上旬～中旬。複数教員で審査
- 論文提出しても卒研発表会で発表しない者は不合格。論文未提出者も不合格

卒業研究について(2)

- 卒業研究の進捗状況については、厳しくチェックされる
 - 3～4か月毎に「卒業研究進捗報告書」を作成する
 - 計画に基づき、着実に研究を進めること
- CSコース履修者は、毎日あるいは毎週の活動記録(稼働報告書、週報など)を記録・提出しなければならない
 - 所定の時間数と前期・後期のバランスを審査する
 - 十分に留意して取り組むこと
 - 作業日誌のノートをつける研究室が多い
- 研究の取り組み姿勢、論文の書き振りで、就職後、職場で活躍できるか、将来昇進できるか、早期退職になってしまうかがある程度わかる

履修申請期間と初回授業

- 履修申請期間
 - 2022年4月9日(土)～12日(火)
 - 前期後期分とも専用サイトから申請すること
 - 履修申請要領をよく読むこと!
 - 「履修申請要領」を理解したうえで、自分の判断で過不足なく履修申請すること!
 - 4年後期になって、勘違いで単位不足で卒業不可になったケースも過去にあり
 - 状況や自身の興味によって他学科科目の履修も検討しましょう
- 初回授業
 - 2022年4月8日(金)から開始
 - 履修を予定する科目は第1週から必ず出席すること
 - 授業計画に従って、第1回から授業は始まっている
 - 第1回に教材の配布やグループ分け、レポートや試験が実施される科目あり
 - シラバスをよく読んで、各科目の目的を理解しておくこと

前期の履修申請期間について

- 登録期間
 - 2022年4月9日(土)～4月12日(火) ※必ず1年間分を履修登録すること
- 履修疑義受付
 - 2022年4月22日(金)～4月25日(月)
- 履修辞退受付
 - 前期:2022年5月13日(金)～5月16日(月)
 - 前期前半:2022年6月18日(土)～6月20日(月)
- 事前申請が必要な科目(人文社会科学系・総合理学系)の授業科目履修について
 - 【2年次生以上】履修ガイダンス後～2022年3月29日(火)11:00まで
 - 【1年次生】2022年4月5日(火)～4月6日(水)11:00まで
 - シラバスp.31～p.32を確認

シラバスの見方(1)

- 各科目の学習目的, 授業の進め方, 成績評価方法などがまとめられているので, よく読むこと
- 記載項目
 - 授業のねらい・概要
 - 授業計画
 - 各回のテーマ・内容・方法, 予習復習内容と時間
 - 到達目標
 - 評価方法
 - 成績評価基準(ミニマムリクワイアメント)
 - 教科書・参考書・授業心得・オフィスアワー
- 2単位の授業科目で要求されている学習時間は, 90時間(予習, 授業, 復習)
 - シラバスの「予習/復習」「受講心得」などに授業時間以外での学習について記載しているので, よく読んでおくこと



シラバスの見方(2)

- 特に, 各科目の到達目標, 評価方法, 成績評価基準をよく理解しておくこと
 - 合格基準に達しなければいくら先生に頼み込んでも単位はもらえない

到達目標	(a) マシンレベルから高級言語に至るプログラミング言語の役割を理解しており, 高級言語がマシン語プログラムに変換され, 実行される過程を理解し, 説明できること。 (b) プログラミング言語における関数のパラメータ渡しと手続きの駆動メカニズムについて理解し, 説明できること。 (c) 構文規則をBNFで表現する手法を理解し, BNFの解釈及び簡単なBNFや構文木の記述ができるようになること。 (d) 逆ポーランド記法の式の評価を理解し, プログラミングができること。 (e) 関数型言語の特徴を理解し, 簡単なプログラムを読んで理解し, 説明できること。 (f) オブジェクト指向言語の概念を理解し, 説明できること。 (g) 論理型言語の基礎を理解し, 簡単なプログラムを読んで理解し, 説明できること。
評価方法	評価は定期試験を主とするが, 小テスト, および授業中に適宜課す演習課題およびレポートも勘案する。
成績評価基準	A: 到達目標のすべての項目(a)~(g)が良好な水準で達成できている。 B: 到達目標のすべての項目(a)~(g)が達成できている。 C: (a)~(e)がすべて達成できている。 D: (a)(b)(c)(e)がすべて達成できている。(minimum requirement) F: 上記以外。 A = 4点でGPA計算 B = 3点でGPA計算 C = 2点でGPA計算 D = 1点でGPA計算 F, X 不合格

GPA(Grade Point Average)

- 学修効果を数値化して表している
 - 当該期:S-GPA, 当該年:Y-GPA, 累計:T-GPA
- GPAの大学での利用
 - 修学指導
 - 卒研, 情報ゼミ配属時の選考基準
 - 成績順位(卒業時各学科上位3名は表彰対象)
 - 大学院学内進学(2.40以上でA判定, 2.00以上でB判定)
 - 奨学生の選考
- ただし, 最終的な成績(席次)はGPAのみではなく, 「GPA×取得単位数」で評価される
 - 単にGPAだけを上げるのではなく, 多くの単位を取得して専門性を高めること

卒業のこと・将来のことも考えよう

- 卒業資格を得るためには履修申請要領に記載の条件を満たしていなければならない
- 単位不足のパターン
 - 3年次までに遊び癖をつけてしまった
 - アルバイトに身を入れすぎてしまった
 - 期末試験等での思わぬ失敗
 - 事故(病気, 怪我)
 - 4年で取るつもりが就職活動が忙しすぎ
- 卒業要件を満たしていなければ, たとえ就職が決まってもキャンセルして留年するしかない!!
 - 毎年数件の事例あり

大学院進学を考えている人へ

- 大学院では研究成果の発表を目指しましょう
 - 修士課程(博士前期課程の2年)では, 学会発表・論文発表
 - 大学院博士課程(博士後期課程の3年)では, 学会発表・論文発表・国際会議発表
- 本学大学院へ推薦願書を出している人
 - 合格後はMO生として, 「海外研究支援制度」に応募できます
 - 6月には院生の研究発表会, 2月には修論発表会があります. 積極的に参加してください
- 本学大学院 or 他大学院の受験を考えている人
 - 大学によって, 受験日の時期が違います. 本学は6月末と2月末.
 - 受験する前に, 指導教授を訪ね, 自分のしたい研究が可能かどうか合意を得ておくのが一般的普通です
 - 大学院試験の過去問は, 各大学で入手できます

資格取得も考えよう

- 【語学資格】
 - TOEIC
 - 大学院入試で必須(受験していないと英語が0点)
 - 450点で英語1単位, 550点で2単位, 750点で4単位
- 【コンピュータ関連資格】
 - 基本情報技術者試験*
 - ソフト系企業ではほとんど必須(昇進の条件になるケースも有り)
 - 「情報処理基礎」で試験対策. 認定単位も有り
 - 「達成度確認テスト」は基本情報技術者試験の過去問から出題
 - 応用情報技術者試験, CCNA, Oracle Master
 - 企業内では一目置かれる
- いずれも体系的な勉強が必要

社会が新卒学生に求めるもの

- 企業が求める人材像
 - 自主的に行動できるとともに, 周囲とコミュニケーションを図りつつ物事をやり遂げられる
 - 計画を立て, 計画を推進し, 計画の狂いを修正でき, そもそも計画が狂わないよう先手を打てる. 指示待ち人間はいらない!
 - 卒業時点で技術力(学力)はあった方が良いが, それよりも新しいことを吸収できる意欲と能力を持っている
- このような人材を目指してほしい
 - まさに卒研によりこの体験ができ, 社会人を習得できる

ディプロマポリシー

- ディプロマポリシーとは
 - 各大学がその教育理念を踏まえ, どのような力を身に付ければ学位を授与するのかを定める基本的な方針であり, 学生の学修成果の目標ともなるもの
- 情報科学部のディプロマポリシー
 - 各種システムを開発することのできる専門能力
 - 自然と人間が共生する, 豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力
- 詳細は以下で確認すること
 - http://www.oit.ac.jp/japanese/oit/de_policy.html

情報科学部

4年以上在学して所定の単位を修得し, 授業および卒業研究を通じて, 下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し, 学士(情報学)の学位を授与する。

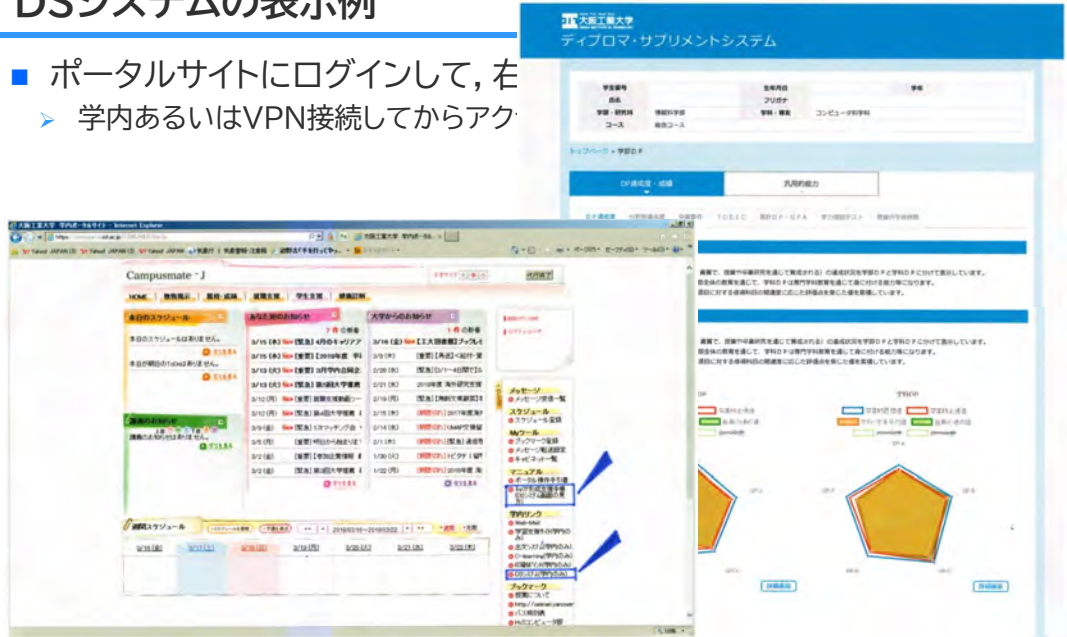
- (1) 各種システムを開発することのできる専門能力
 - 数学・自然科学など理工系の専門基礎知識, およびハードウェア・ソフトウェア・システムに関する専門知識を持ち, 高度情報化社会のためのシステム開発に活用できる。(理工系の基礎知識と専門的知識を活用する能力)
 - 豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力や正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち, 他者と協働して活動できる。(豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力およびコミュニケーション能力)
- (2) 自然と人間が共生する, 豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力
 - 自然, 社会, 文化に対する広い人間的養育を持ち, 地球の視野で物事を考え行動できる。(自然, 社会, 文化に対する広い人間的養育)
 - 責任感, 倫理観, 実行力を持ち自律的に判断し行動できる。(責任感, 倫理観, 実行力)
 - 新しいものごとへの強い関心・興味を持ち, 自主的・継続的に学習することができる。(自主的・継続的に学習する能力)

ディプロマ・サプリメントシステム(DSシステム)

- DSシステム
 - ▶ 卒業するまでに、身につけるべき知識や技術の達成度を可視化するための学習支援システムです
- 在学中
 - ▶ その時点での自分の能力・課題を客観的に見つめ自己内省を深める
 - ▶ 教職員からのアドバイスも参考に、実力をさらに伸ばすための計画を立てる
 - ▶ その計画実現に向けて、根気強く積極的に取り組む
- 就職活動時
 - ▶ 帳票として出力することができ、補助証明書になる

DSシステムの表示例

- ポータルサイトにログインして、右
 - ▶ 学内あるいはVPN接続してからアク



おわりに

- 以下のことを念頭に置いて頑張ってください。
 - ▶ 毎年、卒研着手に到達しながら卒業できない人がいる
 - ▶ 就職も決まっていながら卒業できない人がいる
 - ▶ 就職が決まれば卒業させてくれるわけではない！

単位取得が進んでも、それとは関係なく、自分にとって必要な科目を履修して、貪欲に学習を継続して下さい

- 時間のある学生にしかできないことをプラス1しましょう
 - ▶ TOEIC 高得点・資格取得・学内外での諸活動にも挑戦
 - ▶ グローバル体験・PBL・インターンシップ・ボランティア・・・